

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	留萌北部地域子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関との連携	学校との連携を密に行い、子どもの様子について情報共有や支援についての相談を行った。 専門支援事業や研修会等にもたくさんの方が足を運んでくださり、共通理解を深める機会を設けることができた。	引き続き、学校との連携を大切に行っていく。 来年度も研修会を計画しているので広く周知し、地域で学ぶ機会を設けていく。
2	保護者の交流の機会を設ける	保護者会と共に、家族で参加できるイベントを企画した。小中学生が主体的に動けるよう、お仕事体験の要素を取り入れて行った。内容もとても充実していた。	引き続き、保護者が交流できる機会を作りながら、家族で楽しく参加できるイベントを企画していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員確保の難しさ	国で定められている職員は確保をしているものの、人手が足りないため充実した支援を行えていない。	求人活動（大学周り）を積極的に行っていく。 高校生のインターンシップやアルバイト等も積極的に受け入れ、センターの仕事内容を地域にも知らせていく。
2	冬季間の送迎の難しさ	地域柄、冬季間の送迎を職員で行うことは子どもたちも職員も安全を守ることが難しく、大変危険性が高い。天候の心配が大きく、大きい場合は保護者にも送迎をお願いすることがあった。	地域の運転業務を委託できる業者を探す等、対策を考えていく。
3			